

『脳免疫機能の生理から病理まで』

日時：2025年7月29日（火） 10:30~16:20

場所：千里ライフサイエンスセンタービル 5F サイエンスホール(WEB配信併用)

開催趣旨：脳は神経細胞が織りなす複雑なネットワークの活動により機能すると考えられてきたが、脳には神経細胞よりも多い数のグリアが存在している。今世紀に入ってからグリア研究は格段に進歩し、脳の生理・病態生理は神経・グリア両細胞のコミュニケーションにより実現していることが明らかにされつつある。ミクログリアは脳の免疫細胞であるが、免疫細胞としての役割を遙かに超え、情報処理・発信、という脳の中核機能制御で中心的な役割を果たしている。またこのようなグリアを介した情報のやりとりは、脳に閉じる事なく、脳と末梢の臓器・細胞とのコミュニケーションにおいても重要であることが明らかとなってきた。これには近年のグリア関連の事象について、1分子から脳全体までを「見る」技術、「操る」技術、網羅的に「知る」技術等の、素晴らしい技術革新が進んだこと、さらに末梢と神経-グリアを繋ぐ様々な分子が明らかになってきたこと等による。本セミナーでは、グリアを介した脳免疫連関についての最新の知見を、これら最新技術の進歩を踏まえて議論する。

演題・演者（*コーディネーター）

10:35-10:50 「はじめに」

小泉 修一* 山梨大学・医学部長、同大学院・医学域長、
同大学院総合研究部医学域 薬理学講座 教授

10:50-11:30 「病態におけるグリア細胞の変容」

和氣 弘明* 名古屋大学大学院医学研究科 機能形態学講座 分子細胞学 教授

11:30-12:10 「末梢免疫細胞による脳の疾患制御」

伊藤 美菜子 九州大学 生体防御医学研究所 アレルギー防御学分野 准教授

-昼食-

13:20-14:00 「エクソソーム解析から目指す、自閉スペクトラム症の新たな病態解明」

星野 歩子 東京大学 先端科学技術研究センター 細胞連関医科学分野 教授

14:00-14:40 「認知症病態を司るミクログリアの可視化と制御」

樋口 真人 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所
脳機能イメージング研究センター センター長、
大阪公立大学大学院医学研究科 病因診断科学 教授

-休憩-

14:50-15:30 「脳神経回路の構造改変とグリア機能」

岡部 繁男 東京大学大学院医学系研究科 神経細胞生物学分野 教授

15:30-16:10 「グリア細胞置換による脳機能制御」

小泉 修一* 山梨大学・医学部長、同大学院・医学域長、
同大学院総合研究部医学域 薬理学講座 教授

16:10-16:20 「おわりに」

和氣 弘明* 名古屋大学大学院医学研究科 機能形態学講座 分子細胞学 教授

■ 参加費：無料 ■ 定員：会場参加100名、WEB参加500名

会終了後、交流会（名刺交換会）を開催します。是非、会場にお越し下さい。

■ 申込方法：参加希望者は、当財団ホームページの「参加申込・受付フォーム」からお申込み下さい

■ お問い合わせ：千里ライフサイエンスセミナーX2事務局

E-mail: otk-2023@senri-life.or.jp TEL: 06-6873-2006

財団 HP: <https://www.senri-life.or.jp>

主催：公益財団法人 千里ライフサイエンス振興財団

後援：バイオコミュニティ関西



参加申込フォーム